

2cm 未満の胃粘膜下腫瘍に対する EUS-FNAB の有用性

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

胃の粘膜下腫瘍に関して、本邦の診療ガイドラインでは症状の有無および腫瘍径別に治療方針が示されています。無症状かつ生検が実施されていない2cm未満の胃粘膜下腫瘍 (submucosal tumor: SMT) は悪性所見がない場合、1~2回/年の内視鏡検査ならびに超音波内視鏡検査で経過観察を行うことが推奨されています。一方で、2cm未満のSMT (消化管間質腫瘍等) でも稀ながら急速に増大する症例も報告されています。そのため、2cm未満でも超音波内視鏡下穿刺吸引/生検法 (EUS-FNAB) による組織採取が必要なこともあります。2cm未満の胃SMTにおけるEUS-FNABの有効性と安全性を示すことができれば、GISTの早期診断にEUS-FNABを推奨する根拠となり得ると考えます。

研究期間

2021年11月1日から2024年10月31日 (3年間) の予定

研究の対象となる方

2011年1月から2021年5月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で胃粘膜下腫瘍に対しEUS-FNABを受けられた方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、2cm未満の胃粘膜腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引法の組織採取率、有害事象の有無について統計学的に調査します

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号 (ID) と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつながりません。論文化から10年程

度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されま
す。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせくだ
さい。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

中野 省吾 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

岩上 裕吉 消化器内科 副部長

上野山 義人 消化器内科 部長

山下 幸孝 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20